

令和5年度 第3回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事

2023.09.26 (火) 18:30-19:00

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高橋（担当理事） 今釜（委員長） 大谷 相澤 奥田 宮腰
加藤 酒井 須田 手束 寺井 中西 湯川 西田 村上
伊藤（書記）（敬称略）

アドバイザー： 川口（敬称略）

欠席委員： なし（敬称略）

議事

1. 報告事項

(ア) 日本脊椎脊髄病学会理事会（2023年9月）：高橋先生

理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 安全医療に関する新たな報告はなかった。
2. BKP トレーナー制度は企業側のメリットが大きいだけであり、なくす方向で賛同が得られた。
3. 専門医関連で、脊椎脊髄病医の位置付けが曖昧となり、今後どうすべきかが議題となっていた。
4. 9/6 付けで波呂理事長より当委員会に外部委員1名選出依頼があった件、栃木県の案件であり、比較的近い福島県立医大の大谷委員に相談し快諾いただいた（今釜委員長より）。

(イ) 貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会アドバイザー）

プリオン病に関するWGで貸出器械の安全管理方法として「貸出器械確認書」が完成し、現状「貸出器械確認書」の運用方法の検討は喫緊の課題ではないことから、プリオン病に関するWGの活動を一旦休止することになった。今回で終了。

2. 検討・報告事項

(ア) プリオン病感染予防についてのアンケート調査 / 2024年JOAシンポジウム依頼（整形外科単回使用手術器具再利用の可能性）：伊藤先生 2024年JOAシンポジウムの発表者、抄録の件について確認。

- (イ) 周術期合併症 pilot study 英語論文 / 依頼原稿 (南江堂『整形外科』
「整形外科領域別の医療安全トピックス/症例レジストリに基づいた
合併症」):伊藤先生

町野先生から伊藤先生に英語論文作成の引き継ぎを確認。
二重投稿と見做されないための日本語総説に関して理事会後に川口先生
より二次出版であることを明記することで二重投稿にはあたらないとご
意見をいただき、依頼原稿に関しても作成を進めていく。

3. その他

- (ア) 第98回日本整形外科学会学術総会からシンポジウム案の募集
詳細についてメールで連絡、検討していく。

4. 次回委員会開催日

2024.1.30 (火) 18時30分～